

12 月季節の便り



オナガガモ・オス：

換羽中。渡来したばかりで、まだ繁殖羽になっていませんが、12月中旬にはスッキリした男前になります。

アオバト・メス：

ドングリを食べて喉が渴いたのか水を飲みにひょっこりやってきました。秩父や丹沢山系のアオバトは湘南の大磯海岸に、塩分補給のため群れで海水を飲みに来ることで知られています。

(2016.01.17のNHKのダーウィンが来たで放映)



ヒヨドリ・ネズミモチの実：

お馴染みのヒヨドリ、ネズミモチのてっぺんの実を食べにやってきました。シロハラなどツグミ類も次々と来て食べるので、1週間もすればこの木の実はなくなります。

オオバン：

小さな修景池にオオバンが3羽渡来、縄張り争いが絶えません。追っ払われて逃げの一手の低空飛行です。





マミチャジナイ・メス：

旅鳥のマミチャジナイは先月の季節の便りに載せましたが、名前は「マミシロチャジナイ(白い眉の茶色いツグミという意味)」が短くなったものとのこと。小山の水場に給水に来たこのオスは、先月の個体より美男子です。

↓ アオジ・メス：



↑ アオジ・オス：

小山の水場近辺には渡来したアオジが5，6羽姿を見せており、紅葉の中の情景を撮りました。



紅葉：

多磨霊園の中で一番赤いと思われる紅葉を撮りました。



キタテハ：

先月の季節の便り「トネアザミ・キタテハ」で乗せた写真のチョウはご指摘があり、確認したところ「ツマグロヒョウモンのオス」でした。この写真のチョウが「キタテハ」です。